

2019年5月23日

岐阜県知事 古田 肇 様

## 長良川の環境改善を求める要請書

よみがえれ長良川実行委員会 共同代表 粕谷 志郎  
亀井 浩次

貴職の日頃の河川行政推進のご努力に敬意を表します。

昨年の度重なる洪水によって長良川流域では様々な被害を受けました。川の様相も大きく変化しました。それに伴い、河川工事が大々的に進められていますが、生きものの生息や景観保全に配慮が見られない状況が広がっています。私たちは環境を配慮した治水で長良川を生かすことを願っています。

来年は、生物多様性条約愛知目標の節目となる年です。長良川の汽水域を復元し環境回復と漁業の再建をめざす施策が求められています。河口堰開門調査に向けた岐阜県の率先した行動を求めます。

右肩上がりの水需要を想定した水資源開発政策が破綻する中、国は「災害級の渇水」のリスク論を持ち込み、新たな「ダムありき」政策を進めようとしています。木曾川水系連絡導水路事業は、現在、凍結となっていますが、国はこの「リスク」論を下敷きに事業を継続させようとしています。県民は導水路事業について、長良川に対する環境悪化の不安は残したままです。また事業の必要性についても疑問が残されています。導水路事業の「検討の場」において、県民の不安と疑問を表明し、事業の中止を主張してください。

岐阜県の財政が厳しい中、内ヶ谷ダム事業の意義が問われています。工事を中断し、自然豊かな長良川の価値や伝統的防災を踏まえ、もう一度事業の是非を検討すべきだと考えます。

以上の趣旨から下記の要請事項に回答されるようお願いいたします。

### 記

1. 長良川の環境改善と漁業の再建を図るために長良川河口堰開門調査に向けた取り組みを行うこと。
2. 木曾川水系連絡導水路事業の関係地方公共団体からなる検討の場において、長良川の環境悪化の危惧を表明し、「事業の中止」を主張すること。
3. ダムによらない伝統的防災施設施策の充実をはかり、内ヶ谷ダム建設事業の再検討を行い、工事を一時中止すること。